

より豊かな未来のため、
日本の農林水産業の“いま”を調査する



農林水産統計調査 専門調査員

専門調査員とは

- ・農畜産物の生産コストなど、経営に関して農家から聞き取って把握する
 - ・水稻の生産状況などについて、ほ場に出向いて把握する
- などの業務があり、現場でのコミュニケーション力を活かせる、非常にやりがいのある仕事です。
任命期間中は、**非常勤の一般職の国家公務員**となります。

Point 1 ライフスタイルに合わせて働き方を選べる

毎日決まった時間に、決まった業務を行う必要はありません。調査対象となる農家や作物に応じて、業務を行う期間や時間が異なります。このため、複数の仕事に同時に従事する「マルチワーカー」や「二地域居住」の実践者など、様々なライフスタイルに応じたご活躍が可能です。

Point 2 地域の農業者と交流・つながることができる

調査対象である農家とコミュニケーションしながら、調査を進めていきます。このため、地域農業についての知識が深まるとともに、地域の農家との交流やつながりができ、地域との関わりに欠かせない人間関係を構築するきっかけとすることができます。

Point 3 農業の知識がなくても大丈夫

調査や農業の基本的知識について習得できる基礎的な研修、調査業務のスキルアップ研修を実施しています。

また、業務の実施に当たっては、経験豊富な農林水産省職員によるサポートも行います。

VOICE 01

経営統計専門調査員 4年目
Aさん(40代・女性)・専業主婦



子育て中ということもあり、時間を調整しながら自分のペースで調査ができるので、この仕事を担当できて良かったと思います。

VOICE 02

生産統計専門調査員 3年目
Bさん(60代・男性)・自営業



現地に出向いての調査は、普段行くことのない場所に赴くことができ、新たな発見をすることもあり、やりがいのある仕事だと思います。

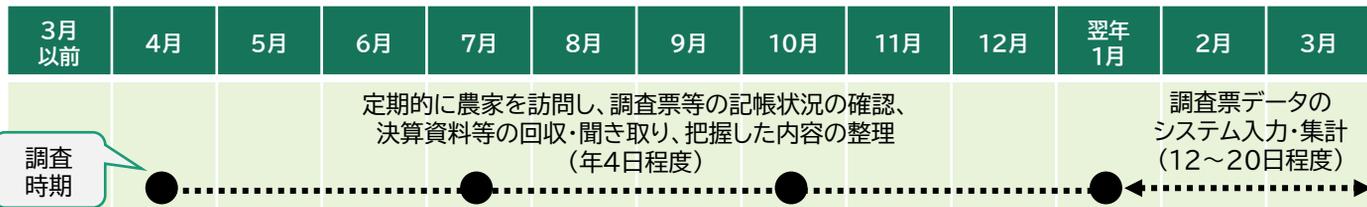
【参考】令和6年4月現在の専門調査員数

1,030人 (全国)

農業の知識がなかった方を含め、幅広い方が活躍されています。

「経営統計」の主な業務内容

【農家1件あたりの主な年間業務スケジュール（例）】

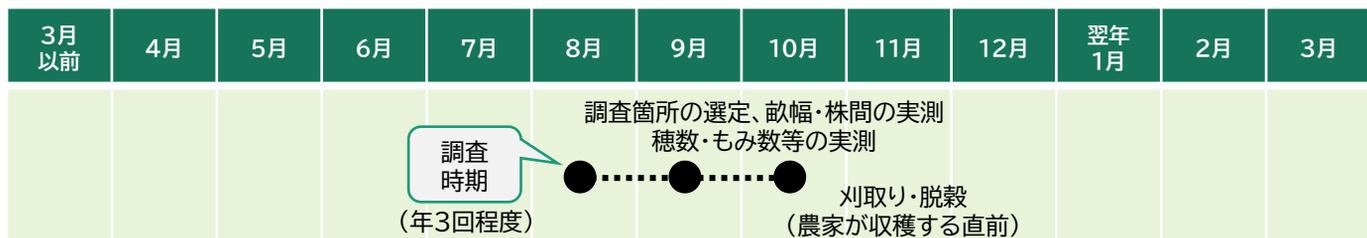


報酬の目安（農家1件あたりの平均的な業務日数と報酬（例））

- ◆ 農産物に関する調査の場合：1調査あたり（約16日） 約16万円
 - ◆ 畜産物に関する調査の場合：1調査あたり（約24日） 約24万円
- ※調査員が受け持つ農家数は平均で4件となりますが、習熟度に応じて増減します。

「生産統計」の主な業務内容

【水稲に関する調査の主な年間業務スケジュール（例）】



報酬の目安（水田1枚当たりの平均的な業務量と報酬（例））

- ◆ 水稲の調査箇所の選定、畝幅・株間の実測の場合：水田1枚あたり（3箇所） 約2,600円
 - ◆ 水稲の穂数・もみ数等の実測の場合：水田1枚あたり（穂数20箇所、もみ数10箇所） 約3,400円
 - ◆ 水稲の刈取・脱穀の場合：水田1枚あたり（約60株） 約5,600円
- ※調査員が受け持つ水田の数は平均で8枚となりますが、習熟度に応じて増減します。

専門調査員になるには

まずは募集情報をチェック！

専門調査員は、都道府県ごとに募集します。希望する勤務地を管轄する地方農政局等を右の地図でご確認いただき、農林水産省ウェブサイトの「農林水産統計調査 専門調査員」ページから、募集要件、募集人数や期間などの募集状況を確認してください。

現在募集を行っていないエリアにおいても、翌年1月以降に募集することがありますので、興味のある方は、まずはお気軽に、希望する勤務地を管轄する地方農政局等統計部統計企画課（沖縄については統計調査課）へお問い合わせください。

【地方農政局等へのお問合せ先（ダイヤルイン）】

- ①北海道農政事務所 011-330-8818
- ②東北農政局 022-745-9378
- ③関東農政局 048-740-0574
- ④北陸農政局 076-232-4892
- ⑤東海農政局 052-763-4730
- ⑥近畿農政局 075-414-9620
- ⑦中国四国農政局 086-224-9426
- ⑧九州農政局 096-300-6537
- ⑨沖縄総合事務局 098-866-1671

【本資料についてのお問合せ先】

農林水産省大臣官房統計部統計企画管理官
 担当者：統計企画班
 代表：03-3502-8111（内線3582）
 ダイヤルイン：03-3502-5627

